

詩集

母

その愛は今なお

矢野栄蔵



詩集

母

その愛は今なお

矢野栄蔵

**詩集 母 その愛は今なお**

著 者 矢野栄蔵

平成四年二月十七日 新装版発行

平成六年七月二十日 第二刷発行

発 行 株式会社 矢野企画室

印 刷 株式会社 小西印刷所

製 本 須川製本所

(非売品)

**矢野栄蔵**（日本音楽著作権協会々員）  
昭和14年4月18日 兵庫県西宮市に生れる  
関西大学文学部在学当時より詩壇に登場  
主な著書に詩集『母』『おやじと息子』<sup>いとう</sup>  
『人生逆立ち詩集』『愛犬アド』『真珠の彩』  
長篇小説『恋路海岸』短篇小説『ある青春』  
ドキュメント『駆けゆくもの』他30数冊  
所属団体『西宮中央ライオンズクラブ』  
『社団法人西宮青年会議所OB会』他  
昭和55年9月兵庫県知事より『のじぎく賞』受賞  
平成5年6月内閣総理大臣より『紺綬褒章』受章

留程四十五年 四十七日

ルの口は禪から秋晴であつた

セツシ

春なかばの夜廻であつた

それにもかかわらず

申のかいだは余たくなつてこつた

無能の母十三才であつた



试读结束，需要全本PDF请购买 [www.ertongbook.com](http://www.ertongbook.com)

田の遺体と共に  
跡と裾  
高速道路での凹凸が  
やけに多い  
もどたを  
めぐらしくした



西宮市役所の交差点で  
赤信号のため  
寝台の自動車が止つた  
幸福そうな家族が  
乗つあわせている自動車と  
横に並んだ  
無性に腹が立つた



スミレ

戦後まもなくから

住みなれた店舗住やの端で

一時停止をしたのが

田の知りなごみ的なワクンシヨンヘと回つ

狭くて困つてこたといつ

大家がこの配慮で

真向の教室を壁つらうとが出来

田と一緒に

一泊二日のお宿話になれた

その大家さんには今も感謝してこの



妻が田意した縞子の布団りんず

田は横たわつた

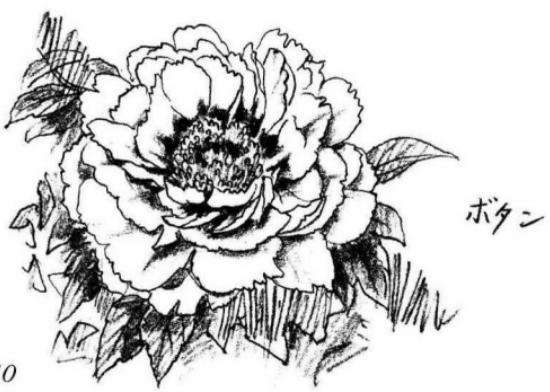
入院中の半年間

ぐつかわ

歸れた田は無かつたのである田の

かわかな寝息が

聞こへるよつだつた



ボタニ

由の好もであつた花を飾り

好物の果物を供えた

見るといひべ食べるといひ

出来なことだがわかつてこながい

供養となるものと

聞いて



リンゴ

現在  
いま

大本山妙心寺管長の

海清寺老大師に

枕経と説法をいただいた

一時間近くも正座をしたのは

何年ぶりのことだつたろう



ハナショウブ